年間授業計画　新様式

八王子北 高等学校　令和５年度（１学年用）教科　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　E 組

教科担当者：

使用教科書：　教育出版　Tutti＋　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を養う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	三線を楽しもう 【知識及び技能】三線の奏法や音階について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】奏法や音色などを工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に演奏に取り組む。	・沖縄音楽の特徴 ・工工四と音階 ・開放弦の練習 ・簡単な楽曲の練習		○		○	【知識・技能】楽器の音色や奏法との関わり、様々な音楽表現の特徴について理解している。奏法を習得している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するか意図を明確に持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】奏法を高度に習得すること、音楽表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	歌の世界を広げよう 【知識及び技能】親しみやすい楽曲の特徴について理解し、効果的な表現をするための発声法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特性に合った表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現の工夫をする。	・校歌 ・優しいあの子 ・夏の思い出　他 ・音名について	○				【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸法など身体の使い方などを意識して歌っている。音名について理解している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するか考え創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と課しのかかわりに関心を持ち、主体的に学習に取り組	○	○	○	7
	音楽の歴史を学ぼう① 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴、その文化的歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特徴を知覚し、音楽の良さや美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。	・中世・ルネサンス音楽の特徴 ・バロック音楽の特徴				○	【知識・技能】各時代の音楽における特徴と文化的歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲の良さや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】西洋音楽の歴史を文化的歴史的背景の学習でたどることに関心を持ち、主体的協働的に学習活動に取り組も	○	○	○	7
2学期	三線を楽しもう② 【知識及び技能】三線の奏法や音階についてさらに理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を知覚し、どの様に表現に結びつけるかより深く考えて演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】音楽表現の創意工夫をする。	・三線の弾き歌い 「海の声」「島唄」 ・音素材を効果的に取り入れた演奏(グループ活動)		○			【知識・技能】楽器の音色や奏法との関わり、様々な音楽表現の特徴についてより深く理解している。奏法をより高度に習得している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、より深い表現意図を持って演奏できている。 【主体的に学習に取り組む態度】音楽表現をより高度に習得し、創意工夫することに関心を持って一層主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	芸術歌曲に親しもう 【知識及び技能】イタリア語、ドイツ語の語感の特性を知覚し、発声法や曲想表現の方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特性に合った表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に歌唱表現の工夫をする。	・イタリア歌曲 ・ドイツ歌曲 ・音符の長さ・休符の長さ ・反復記号	○				【知識・技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性に応じた発声との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、歌詞表現などの技能を身に付けている。音符、休符の長さ、反復記号について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受して、表現意図をもって歌っている。 【主体的に学習に取り組む態度】言葉の特性や	○	○	○	8
	物語と音楽との関わり 【知識・技能】オペラなどの総合芸術における音楽の役割りを理解する。 【思考・判断・表現】音楽の効果を	・オペラ「カルメン」	○			○	【知識・技能】オペラやミュージカルの特徴や、作品の背景を理解している。 【思考・判断・表現】曲の特徴と声の表現の関わりを感受し、音楽表現の共通性について考えながら鑑賞している。	○	○	○	5
	音楽の歴史を学ぼう② 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴や表現上の効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特徴を知覚し、楽曲に対する評価とその根拠について考える。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。	・古典派の音楽の特徴 （ハイドン・モーツアルト・ベートーベン)				○	【知識・技能】音楽の文化的・歴史的背景を踏まえた上で、曲想や表現上の効果と構造との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら曲を味わい、根拠をもって楽曲の評価する（感想を著す）ことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラの響きやソナタ形式において主題が展開される面白さに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	5
3学期	歌の世界を楽しもう② 【知識及び技能】曲の構造や歌詞の内容について理解し、発声法や曲想表現の方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】曲の特徴を知覚し、表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】合唱の響きを楽しみ表現する。	・混声4部合唱曲 ・日本歌曲	○				【知識・技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、曲想や表現上の効果について理解している。他者との調和を意識して歌う技能、楽曲の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、どのように歌うか表現意図を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識すること	○	○	○	10
	ハンドクラップを楽しもう 【知識及び技能】リズムの読み方を知覚し、他者の音を聞きながらハンドクラップで正しく演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に活動に取り組む。	・リズム ・リズムアンサンブル		○			【知識・技能】音素材や音の重なりによる響きの特徴、リズムについて理解し、正確に演奏している。 【思考・判断・表現】リズム、速度、強弱テクスチュアを知覚し、それらを表現にどの様に生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】音色を工夫したりしながらイメージをもって主体的・協働的に演奏に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計 70